

新型コロナウイルス感染症に対する市の対応について

令和2年7月20日
伊丹市長 藤原保幸

全国的に新型コロナの感染者が増加しています。特に東京都では7月1日から19日までの間で3,000人を超える陽性を確認したとの報道がありました。この中で、最近では20代・30代の感染者や感染経路が不明な人が顕著となっています。

兵庫県の新規感染者については、先週7月13日から19日の1週間で97人、1日平均13.8人と大きく増加しており、県は独自基準に基づき、医療体制を「感染小康期」から「感染警戒期」に引き上げました。

伊丹市内では、7月15日には約3か月ぶりに20歳代のお一人が感染されたとの情報が入りました。しかし既に近隣各市では連日複数人の感染情報が報告されており、予断を許さない状況にあります。

特に最近の都市部の傾向につきましては、若い年齢層を中心に、接待を伴う飲食店等において感染拡大が目立っています。市民の皆さまにおかれましては、引き続き手指消毒やマスク着用、発熱等の症状のある人は外出を避けるなど「新しい生活様式」に基づく行動をお願いいたしますとともに、東京都など、人口密集地や感染が再拡大している地域との不要不急の往来や、特に感染防止ガイドラインを遵守していない接待や酒類の提供を伴う飲食店への出入りの自粛をお願いいたします。

また特に、学生をはじめ若者の皆さんは、多人数の会食は慎重にいただき、飲食しながら大声での会話や回し飲みを避けるようお願いいたします。

市といたしましては、子育て世帯やひとり親世帯、新生児に対する給付金事業を進めております。また市内事業者に対しまして、テイクアウト・デリバリー利用促進に加え、今後商店街等お買物券・ポイントシール事業及び販売促進事業やキャッシュレス決済ポイント還元事業等を開始します。また、避難所での感染防止策として、衛生用品とともにスポットクーラーや送風機等を整備してまいります。

今後とも必要な感染症対策と支援策を打ち出してまいりますので、本市が発信する情報に注視いただき、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。